



＊ ＊ 2018年 1 月 (第3版)
＊ 2016年11月 (第2版)

医療機器認証番号：228ABBZX00107000

歯科材料 05 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科用支台築造材料キット 70865002

クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE ボンディングキット

ミキシングチップ、ガイドチップ、アプリーケーターブラシの再使用禁止

【禁忌・禁止】

- ・本品又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・使用時の感染防止のため、ミキシングチップ、ガイドチップ、アプリーケーターブラシの患者間での交差使用を避け、使用後は廃棄すること。

【形状・構造及び原理等】

・「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」

構成品	形状	組成
色調： デンチン ホワイト	Aペースト	ペースト モノマー（Bis-GMA、その他のメ タクリル酸系モノマー）、フィラー （表面処理ガラス粉、表面処理シリ カ系マイクロフィラー、シリカ系 マイクロフィラー）、光重合触媒、 化学重合触媒、着色剤、その他
	Bペースト	ペースト モノマー（TEGDMA、その他のメ タクリル酸系モノマー）、フィラー （表面処理ガラス粉、表面処理シリ カ系マイクロフィラー、アルミナ 系マイクロフィラー）、化学重合促 進剤、その他

＊ ＊ ・「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」

構成品	形状	組成
ボンド	液体	モノマー（Bis-GMA、リン酸エステル系モノ マー：MDP®、HEMA、親水性アミド系モノ マー）、フィラー（シリカ系マイクロフィ ラー）、エタノール、光重合触媒、化学重合 促進剤、精製水、フッ化ナトリウム、その他

付属品：遮光板、混和皿、ミキシングチップ、ガイドチップ、ア
プリーケーターブラシ（根管用＜黒＞）

本品に同梱されている構成品等についてはパッケージの記載
をご参照ください。

【作動・動作原理等】

●「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」

デュアルキュア型の効果特性を有し、可視光線光エネルギー
による光重合反応及び過酸化化物と還元剤による化学重合反
応により硬化します。（JIS T 6523 クラス3（デュアルキュ
ア型）/X線造影性あり）

＊ ＊ ●「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」

- ・可視光線光エネルギーにより重合硬化します。
- ・「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」ととも
に、可視光線光エネルギー及び酸化還元反応により重合硬
化します。
- ・「SA ルーティング® プラス」又は「SA セメント プラス
オートミックス®」とともに、酸化還元反応により重合硬化
します。
- ・歯科用金属の表面改質を行った後に、レジン系材料ととも
にラジカル重合により硬化します。
- ・「クリアフィル® DCアクティベーター」と混和後、デュアル
キュア型又はセルフキュア型の支台築造材料とともに可
視光線光エネルギー及び酸化還元反応により重合硬化し
ます。
- ・「クリアフィル® ポーセレンボンド アクティベーター」と
混和し、歯科用金属、及び歯科用セラミックスの表面改質
を行った後に、レジン系材料とともにラジカル重合により
硬化します。

【使用目的又は効果】

〔使用目的〕

- ・ 歯科の支台築造に用いる。

〔使用用途〕

- 1) 直接法による支台築造
- 2) 間接法による支台築造

【使用方法等】

併用する材料について

- ＊ ＊ 「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」と混和して使
用する製品は次のとおりです。
- ・ 歯科セラミックス用接着材料「クリアフィル® ポーセレンボンド アクテ
ィベーター」(医療機器承認番号：16300BZZ00085000)

本品と併用する材料は次のとおりです。

使用方法については、下記製品の添付文書にしたがってくださ
い。

- 1) リン酸エッチング材
 - ・ 歯科用エッチング材 (例えば「K エッチャント シリンジ」)
- 2) 金属接着性プライマー
 - ・ 歯科金属用接着材料 (例えば「アロイ プライマー」)
- 3) セラミックス処理材
 - ・ 歯科セラミックス用接着材料 (例えば「クリアフィル® セラ
ミック プライマー プラス」)
- 4) ポスト
- ＊ ＊ ・ 歯科根管用ポスト成形品 (例えば、「クリアフィル® AD
ファイバーポスト」、「AD ポスト II」)
- 5) 歯科用セメント
 - ・ 歯科用セメントキット (例えば「パナビア® V5」) 又は、歯
科接着用レジンセメント (例えば「SA ルーティング® プラ
ス」又は「SA セメント プラス オートミックス®」)
- 6) ディスペンサー
 - ・ 10mL シリンジ用の歯科用鋲成器具「クリアフィル® ディス
ペンサー」(製造販売届出番号：15B1X10001990001)

照射器における照射時間と硬化深度について

本品の重合に使用する歯科重合用光照射器は、下記に示す。

- ・ LED 照 射 器：光源が青色LEDで発光スペクトルのピー
クトップが450～480nm
- ・ ハロゲン照射器：有効波長域が400～515nm

「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」の照射時間と
硬化深度の関係は次のとおりです。

照射器	光源	光量	照射時間	硬化深度
LED 照射器	青色LED	300mW/cm ² 以上	10秒	1.5mm
			20秒	2.0mm
ハロゲン 照射器	ハロゲン ランプ	300mW/cm ² 以上	10秒	1.5mm
			20秒	2.0mm

間接法のレジンコアの製作において歯科技工用重合装置を用
いる場合は、有効波長域が400～515nmで、ハロゲンランプを光
源とする重合装置が使用できます。重合硬化するために要する
光照射時間は重合装置の性能により異なるため、あらかじめ使
用する重合装置で硬化する照射時間を確認してご使用くださ
い。例えば下記の歯科技工用重合装置における照射時間と硬化
深度の関係は次のとおりです。

取扱説明書を必ずご参照ください

照射器	照射時間	硬化深度
「アルファライトⅡ」 「アルファライトⅡN」 「アルファライトⅢ」	120秒	3.0mm
	180秒	5.0mm

※「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」の照射時間は次のとおりです。

照射器	光源	光量	照射時間
高出力LED照射器	青色LED	1500mW/cm ² 以上	5秒
LED照射器		800-1400mW/cm ²	10秒
ハロゲン照射器	ハロゲンランプ	400mW/cm ² 以上	

「ペンキュア-2000」(製造販売元：株式会社 モリタ製作所)の高出力モードの場合は3秒、標準モードは10秒

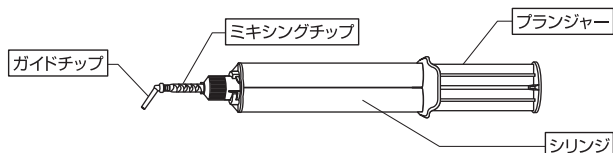
操作可能時間及び化学硬化時間について

「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」の操作可能時間と化学硬化時間は次のとおりです。

操作可能時間 (23℃遮光下)	ミキシングチップを通して練和開始後3分
化学硬化時間 (37℃)	築盛後6分
化学硬化時間 (23℃)	築盛後10分

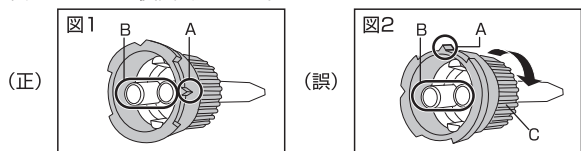
シリンジ及び付属品の準備

(1)各部の名称



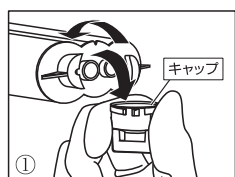
(2)ミキシングチップの準備

ミキシングチップを装着させる時は、必ずAとBが図1の位置にあることを確認してから、ご使用ください。Aが図2のように回転している場合はミキシングチップとシリンジが正しく装着できません。Cの部分を回転させて、Aを図1の位置に戻してからご使用ください。

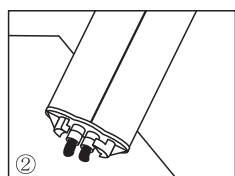


(3)ミキシングチップの装着

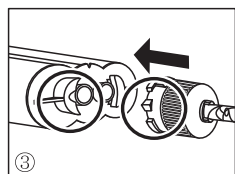
①キャップを反時計回りに1/4回転してキャップの突起部とシリンジの溝を合わせ、根元を持って下方向に折るように取り外します。



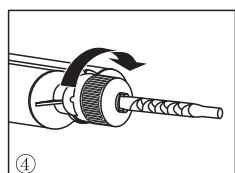
②少量ペーストを押し出し、均等に出ることを確認します。また、2回目以降ご使用になる際も、同様にご確認ください。均等に出ていない場合、硬化不良を起こす場合があります。



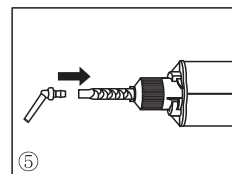
③ミキシングチップをシリンジの溝に合わせて奥まで押し込みます。



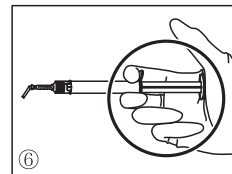
④③の後、ミキシングチップを時計回りに1/4回転させて確実に装着します。



⑤ミキシングチップの先端にガイドチップを音がするまで押し込み、確実に装着します。



⑥親指の付け根でブランジャーを操作してペーストを押し出します。



(4)「クリアフィル® ディスペンサー」(10mLシリンジ用)を併用する場合「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」のブランジャーを引き抜き、「クリアフィル® ディスペンサー」に装着することにより、「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」のペーストをより軽い力で押し出すことができます。使用法は、当該品の添付文書にしたがってください。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- ・使用前後はシリンジ、ミキシングチップ及びガイドチップをアルコールで拭い消毒すること。
- ・「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」の使用後は、キャップを再装着するか、使用したミキシングチップを装着したまま保管し、次回使用する際、新しいミキシングチップを装着してください(キャップを再装着して保管する場合は、キャップに付着しているペーストをよく拭き取ってから装着してください)。
- ・ミキシングチップを交換する際は、キャップと同様ミキシングチップを反時計回りに1/4回転させた後、シリンジの溝に合わせ、下方向に折るようになり取り外してください。
- ・もしシリンジ先端のペーストが硬化しているために出てこない場合には、その部分がインスツルメント等で除去して均等に出てくることを確認してから使用してください。
- ・ガイドチップをミキシングチップに装着する場合は、ガイドチップの根元の部分を持って操作し、その先端部分が折れ曲がらないように注意しながら行ってください。また、向きを変える場合はミキシングチップとシリンジの接合部が回転しないように行ってください。ペーストが漏れる恐れがあります。

使用方法A

下記用途での使用方法です。

1)直接法による支台築造

(1)シリンジ及び付属品の準備

シリンジ及び付属品の準備にしたがいシリンジ及び付属品を準備します。

(2)築造窩洞の形成

通法にしたがい、根管形成・根管充填を行った後、築造窩洞を形成します。

(3)歯科用ポストの準備

適切な長さ及び太さの歯科用ポストを選択し、形成した築造窩洞に歯科用ポストを試適します。必要に応じて歯科用ポストを切断した後、エタノールを染み込ませたガーゼやワッチ等で拭き取ります。

(4)歯科用ポストの表面処理

グラスファイバーポストの場合

(グラスファイバーポストは損傷を避けるためサンドブラスト処理は行いません。)

①リン酸エッチング処理

ポスト表面全体にリン酸エッチング材を添付文書にしたがい塗布し、5秒後に水洗、乾燥します。

②表面処理

※「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」と「クリアフィル® ポーセレンボンド アクティベーター」の混和液を用いる場合>

「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」及び「クリアフィル® ポーセレンボンド アクティベーター」を混和皿に一滴ずつ等量採取し、混和します。混和液をポスト表面全体にアプリケーションブラシ等で塗布し、マイルドなエアブローで液面が動かないまでポスト表面全体をしっかりと乾燥させます。確実に乾燥させるため、エアブローは5秒以上行うようにしてください。

<他のセラミックス処理材を用いる場合>

セラミックス処理材を添付文書にしたがい塗布、乾燥します。

金属ポストの場合

①表面の粗造化

ポストにアルミナサンドブラスト処理を行います(「AD ポスト II」はあらかじめサンドブラスト処理が行われているため必要ありません)。

②表面処理

※※<「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」を用いる場合>

「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」をポスト表面全体にアプリケーションブラシ等で塗布し、マイルドなエアブローで液面が動かないまでポスト表面全体をしっかりと乾燥させます。確実に乾燥させるため、エアブローは5秒以上行うようにしてください。

<他の金属接着性プライマーを用いる場合>

金属接着性プライマーを添付文書にしたがい塗布、乾燥します。

(5)歯科用ポストの植立

「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」を用いて植立する場合

※※①ボンディング処理

適法にしたがい築造窩洞の清掃及び防湿を行います。

「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」を混和皿に適量採取し、アプリケーションブラシ等で築造窩洞に十分に塗布します。塗布後は待ち時間なしで、本品が飛散しないようにバキュームで吸引しながら、弱～中圧のマイルドなエアブローで窩洞全体を乾燥します。根管内に残った余剰のボンドは、ブローチ綿花又はペーパーポイント等で吸い取ります。その後、再度、エアブローでしっかりと乾燥させます。エアブローの圧力は窩洞の形状及び大きさに応じて調整し、確実に乾燥のため、5秒以上は行うようにしてください。その後、「照射器における照射時間と硬化深度について」にしたがい、光照射を行い硬化させます。

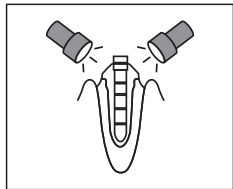
②築造窩洞への填入

ミキシングチップを通して練和された「クリアフィル® DC コア オートミックス® ONE」のペーストをガイドチップより築造窩洞に直接填入します。ペーストの操作可能時間(23℃遮光下)は練和開始後3分ですが、ボンドの塗布面に接触すると化学重合が促進されるため、ポストの固定操作は築造窩洞への填入後1分以内に行ってください。なお、直接口腔内で使用する場合は、交差感染を防ぐため必ずポリ袋等の保護カバーでシリンジ全体を覆い、唾液・血液等が接触しないように注意すること。また、使用前後はシリンジ、ミキシングチップ及びガイドチップをアルコールで拭き消毒すること。

③歯科用ポストの固定

築造窩洞内に挿入後、歯科重合用光照射器により所定時間光照射し歯科用ポストを固定します。

接着力を向上させるため、マージン部分にしっかりと光照射を行います。照射時間は、「照射器における照射時間と硬化深度について」に記載の表をご確認ください。



「パナビア® V5」,「SA ルーティング® プラス」又は「SA セメント プラス オートミックス®」を用いて植立する場合

上記製品の添付文書にしたがいポストを植立し、溢れた余剰ペーストを残存歯冠やポストのヘッド部に薄く広げます。

※※上記製品以外の歯科用セメントを用いて植立する場合

使用する歯科用セメントの添付文書にしたがいポストを植立します。ポストを植立後、ポスト孔から溢れ出した余剰セメントを除去し歯面を露出させます。「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」を混和皿に適量採取し、アプリケーションブラシ等で被着面(窩洞、ポスト)に十分に塗布します。塗布後は待ち時間なしで、ボンドが飛散しないようにバキュームで吸引しながら、弱～中圧のマイルドなエアブローで液面が動かないまで被着面全体をしっかりと乾燥させます。エアブローの圧力は被着面の形状及び大きさに応じて調整し、確実に乾燥のため、5秒以上は行うようにしてください。その後、「照射器における照射時間と硬化深度について」にしたがい、光照射を行い硬化させます。

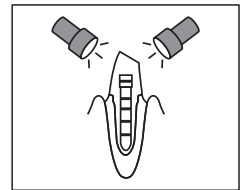
(6)支台築造

①歯科用ポストの植立後、歯科用ポスト周辺に「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」を築盛します(築盛量が多く垂れが心配な場合には、市販のマトリックスを使用するか、5秒間の光照射による仮止めを行う事により容易に築盛できます)。

②築盛後、舌側と唇(頬)側の2方向よりそれぞれ歯科重合用光照射器を用いて所定時間光照射して最終硬化させます。照射時間は、「照射器における照射時間と硬化深度について」に記載の表をご確認ください。

所定の光硬化深度以上に一度に築盛する場合は、光照射後必ず6分以上静置します。

③硬化後は適法にしたがい支台歯形成を行います。



使用方法B

下記用途での使用方法です。

2)間接法による支台築造

(1)築造窩洞の形成

適法にしたがい、根管形成、根管充填を行った後、築造窩洞を形成します。

(2)印象採得

歯科用印象材の添付文書にしたがい、印象採得を行います。

(3)模型製作

歯科用模型材の添付文書にしたがい、採得した印象を用いて模型を製作します。窩洞内にアンダーカットがある場合は、ワックス等であらかじめブロックアウトします。

(4)シリンジ及び付属品の準備

シリンジ及び付属品の準備にしたがいシリンジ及び付属品を準備します。

(5)歯科用ポストの準備

適切な長さ及び太さの歯科用ポストを選択し、模型上の築造窩洞に歯科用ポストを試適します。必要に応じて歯科用ポストを切断した後、エタノールを染み込ませたガーゼやワッテ等で拭き取ります。

(6)歯科用ポストの表面処理

使用方法Aの「(4)歯科用ポストの表面処理」に記載の方法にしたがい歯科用ポストの表面処理を行います。

(7)レジンコアの製作

①模型に「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」の付着を防止する分離材(ワセリン等)を塗布します。

②ミキシングチップを通して練和された「クリアフィル® DC コア オートミックス® ONE」のペーストをガイドチップより模型根管に直接填入します。

③表面処理を行った歯科用ポストを模型根管に挿入後、照射器により光照射し歯科用ポストを固定します。照射時間は「照射器における照射時間と硬化深度について」に記載の表をご確認ください。

④歯科用ポストの植立後、歯科用ポスト周辺に「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」を築盛します。築盛後、照射器により光照射して最終硬化させます。照射時間は「照射器における照射時間と硬化深度について」に記載の表をご確認ください。光硬化深度以上に一度に築盛する場合は、光照射後、室温(23℃)において必ず10分以上静置し、硬化後、支台歯形成を行います。

⑤製作したレジンコアを模型から取り外します。

⑥レジンコアの被着面に30～50μmのアルミナ粒子を用いて0.1～0.4MPa(1～4kgf/cm²)の空気圧でサンドブラスト処理を行います。空気圧はレジンコアの形状に応じて、チップングに注意しながら適宜調節してください。その後、超音波洗浄を2分行い、エアブローで乾燥します。

(8)レジンコアの装着

使用する歯科用セメントの添付文書にしたがい製作したレジンコアを窩洞に装着します。

【使用方法に関連する使用上の注意】

・本品は冷蔵庫から取り出した後、室温で15分以上経過してから使用すること。「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」は室温に戻る前に使用すると、ペーストを押し出しにくい場合があります。

※※「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」は室温に戻る前に使用すると、採取時に必要以上の液が落下したり、液が湧き出すことがあります。液が湧き出した場合、ガーゼ等で拭き取ってからご使用ください。

「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」に関する使用上の注意

- ※・ボンディング処理には、「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」を用いること。
- ・ペーストを根管内に填入する場合には、歯科用根管ペーストキャリア（レンソウ充填器）を使用しないこと。硬化が非常に速くなり、ポストの固定が困難になります。
- ・ミキシングチップに窓際の自然光、デンタルライト等の強い光が長時間当たらないようにすること。強い光が当たると、チップ内のペーストの硬化促進により操作時間が短くなる可能性があります。
- ・窩洞内に残存したアマルガム、仮封材又は他の裏層材は、光の透過及び硬化を妨げるので、窩洞形成時に完全に除去すること。
- ・直接口腔内で使用する場合は、交差感染を防ぐため必ずポリ袋等の保護カバーでシリンジ全体を覆い、唾液・血液等が接触しないように注意すること。また、使用前後はシリンジ、ミキシングチップ及びガイドチップをアルコールで拭き消毒すること、なお、消毒薬に浸漬して消毒しないこと。
- ・デュアルキュア型の歯科用支台築造材料ですが、使用方法にしたがって必ず光照射を行うこと。

※「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」に関する使用上の注意

- ・混和皿へ採取した後は、遮光板で周囲からの光を遮断し、7分以内に使用すること。揮発性の溶媒（エタノール）を含んでいるため、溶媒が揮発すると粘度が上昇し塗布しにくくなります。
- ・被着面への処理中に、デンタルライトの光が当たると光硬化（ゲル化）する場合がありますので、口腔内へのデンタルライトの角度や距離を調整するなど光量を下げる回避処置を行うこと。
- ・成分として水、エタノールを含有しています。乾燥が不十分だと接着強さが低下します。そのため、ボンドが飛散しないようにバキュームで吸引しながら、弱～中圧のマイルドなエアブローで液面が動かなくなるまで被着面全体をしっかりと乾燥させてください。エアブローの圧力は被着面の形状及び大きさに応じて調整し、確実な乾燥のため、5秒以上は行うようにしてください。
- ・ボンド処理中に、被着面が唾液や血液等により汚染されないように保持すること。唾液、血液等で処理面が汚染された場合は、その部位に水洗、乾燥、又はアルコール清掃を行った上、再度処理すること。処理面が汚染されると接着強さが低下する場合があります。
- ・揮発性の溶媒（エタノール）を含んでいるため、揮発成分が蒸散し、ノズルに詰まりが生じる場合がありますので、使用後は速やかに且つ確実にキャップを閉めること。なお、ノズルに詰まりが発生した場合は無理に押し出さず、すぐに使用を中止すること。
- ・長期間使用しなかった時に液が出にくく感じる場合は、容器を振ってから採取すること。

光照射に関する使用上の注意

- ・本品の使用前に「照射器における照射時間と硬化深度について」を参考に使用する照射器で照射時間と硬化深度を確認すること。
- ・光硬化深度以上の量を築盛する場合は「照射器における照射時間と硬化深度について」の表を参考に分割して築盛、光照射を行うこと。又は、光照射後6分以上（37℃）、若しくは10分以上（23℃）静置すること。
- ・照射口はできるだけ修復部位に近接させて、修復部位に垂直に保持し照射すること。また、硬化させる面積が歯科重合用光照射器の口径より大きい場合には、何ヶ所かに区分して分割照射を行うこと。

【使用上の注意】

①使用注意

- ①本品及び混和液を誤飲させないように注意すること。
- ※②「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」及び混和液は可燃性物質であるエタノールを含むため、火気の近くで使用しないこと。
- ③必要に応じて窩洞形成前にラバーダム等の防湿処置を行うこと。
- ④窩洞形成時に、露髄又は歯髄に近接した場合には、覆罩等の処置を行うこと。
- ⑤ユージノール系の材料での歯髄保護及び仮封、仮着は本品の硬化を阻害する恐れがあるので使用しないこと。
- ⑥窩洞清掃が不十分な場合、接着強さが低下する恐れがあるため十分に清掃すること。

⑦硫酸鉄配合の止血剤を使用するとマージン部が褐色に変色することがあるため併用しないこと。

⑧塩化アルミニウム配合の止血剤を使用する場合は、最小限の使用に留め、被着面には触れないように注意すること。塩化アルミニウム配合の止血剤が被着面に触れると接着強さが低下する場合があります。

- ※⑨「クリアフィル® ボーセレンボンド アクティベーター」以外のセラミックス処理剤と「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」とを混ぜて使用しないこと。

- ※⑩使用時の感染防止のため、混和皿に採取した「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」、アプリケーションブラシ、ミキシングチップ、及びガイドチップの患者間での交差使用を避けること。アプリケーションブラシ、ミキシングチップ、及びガイドチップは使い捨てであり、使用後は廃棄すること。

⑪「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」と他の歯科用支台築造材料を積層又は練和して使用しないこと。所定の性能が発揮されない場合があります。

(2)重要な基本的注意

①本品の使用により発疹、温疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。

②本品との接触による過敏症状の予防のため、使用に際しては、手袋の着用等の適切な防護処置を行うこと。

- ※③本品が口腔粘膜・皮膚に付着したり、目に入らないように注意すること。「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」及び混和液の飛散液から患者を保護するため、眼部をタオル等で覆うこと。口腔粘膜・皮膚に付着した場合には、アルコール綿球等で拭き取り、多量の水で洗浄すること。また、目に入った場合には、ただちに多量の水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。

- ※④「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」及び混和液が付着した粘膜面は若干白くすることがありますが、モノマーの蛋白凝固作用による上皮組織への一過性の現象です。白化は数日で消失します。患者に対しては、ブラッシング等で白化した部位に刺激を与えないよう説明してください。

【保管方法及び有効期間等】

【貯蔵・保管方法】

- ・本品は、2～8℃の冷蔵庫で保管し、直射日光、デンタルライト等の強い光が当たる場所や火気の近くに保管しないこと。

【使用期限】

- ・「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」は製造日から36ヶ月。

- ※・「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick ER」は製造日から42ヶ月。
- ・本品は包装に記載の※使用期限までに使用すること。

※(例) Exp.  2021-01-31 は
使用期限2021年1月31日 を示す。)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：

クラレノリタケデンタル株式会社

〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28

フリーダイヤル：0120-330922

販売元：

株式会社モリタ

〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18 TEL (06) 6380-2525

〒110-8513 東京都台東区上野2-11-15 TEL (03) 3834-6161

「クリアフィル」、「MDP」、「バナビア」、「SA ルーティング」及び「オートミックス」は株式会社クラレの登録商標です。